

# 教育心理学を通して、 教育の未来を考えてみませんか!?

## 日本教育心理学会第 58 回総会のご案内 ～地域から描く教育の未来：多様性を支える教育心理学～

開催日：2016 年 10 月 8 日(土)～10 日(月・祝)  
場 所：サンポートホール高松・かがわ国際会議場  
担当校：香川大学 (総会準備委員長 有馬道久(香川大学教育学部))  
後 援：香川県教育委員会

|     |            |                |               |
|-----|------------|----------------|---------------|
| 諸費用 | 事前参加費      | 非会員の方 11,500 円 | 会員の方 9,500 円  |
|     | 当日参加費      | 非会員の方 12,000 円 | 会員の方 11,000 円 |
|     | 会員外 1 日参加費 | 5,000 円        |               |

※3 日間の参加だけでなく、1 日だけの参加も可能な会員外 1 日参加費もありますので、ぜひご参加ください。多くの方々の参加をお待ちしております。

※なお、初日の招待講演もしくは 2 日目のハラスメント防止委員会企画シンポジウムのみに出席される方は、無料公開のため参加費は必要ありません。

※裏面の企画以外にも、期間中はポスター発表や自主企画シンポジウムなどが行われます。詳細についてはホームページをご参照ください。

※非会員の方の事前参加についてはホームページをご参照ください。

(<https://confit.atlas.jp/edupsych2016> もしくは「教育心理学会」で検索してください)



スマホの方はこちらから



## ●10月8日（土）

### 10:00 - 12:00 『教育心理学界でのアウトリーチはどうあるべきか？―学校現場への貢献や諸資格への取組について―』

日本教育大学協会教育心理部門と準備委員会との合同企画シンポジウム

話題提供：中谷素之（名古屋大学）山口豊一（跡見学園女子大学）武蔵博文（香川大学）小泉令三（福岡教育大学）

指定討論：秋田喜代美（東京大学） 司会：糸井尚子（東京学芸大学）

【要旨】教育界の動きに対して教育心理学界がどのような動向にあるのかを学会員が理解するために、大学での改革等の現状を共有し、これらをもとに今後の方向性を考える機会としたい。

### 13:00 - 15:00 『「自由の相互承認」のための学校・地域コミュニティづくり―教育心理学と教育哲学の協働のために―』

招待講演（無料公開）

講師：苫野一徳（熊本大学） 司会：有馬道久（香川大学）

【要旨】教育哲学と教育心理学がどのように協働することができるか、またすべきなのか、本講演ではその展望を提案したい。

### 15:30 - 18:00 『学校教育における活用力の育成―知識の文脈依存性を超えるための心理的メカニズムと方法―』

研究委員会企画シンポジウム

話題提供：植阪友理（東京大学）白水 始（東京大学）外山紀子（早稲田大学）湯澤正通（広島大学）

指定討論：市川伸一（東京大学） 司会：吉田 甫（立命館大学）

【要旨】本シンポジウムでは、学校での基礎的な知識（領域固有の知識）の学習からいかに活用力を育てるのか、その心理的メカニズムや具体的な実践の方法についてそれぞれの立場から提起していただき、議論を深め、教育心理学での研究の発展を期待したい。

### 15:30 - 17:30 『学校で役立つ認知行動療法』

日本認知・行動療法学会と準備委員会との合同企画シンポジウム

話題提供：大月 友（早稲田大学）佐藤美幸（京都教育大学）大久保賢一（畿央大学）

指定討論：伊藤美奈子（奈良女子大学）戸田有一（大阪教育大学） 司会：宮前義和（香川大学）

【要旨】認知行動療法は既に学校に導入され、効果をあげている。しかし、本来は心理療法である認知行動療法を学校に導入する際には、学校という場にあった工夫や配慮が必要であるため、今回は認知行動療法の知見や技術を学校で活用することについて考えていく。

## ●10月9日（日）

### 9:30 - 12:00 『縦断データ分析のはじめの一歩と二歩』

研究委員会企画 チュートリアルセミナー

話題提供：宇佐美 慧（筑波大学）吉武尚美（順天堂大学）高橋雄介（京都大学）

司会：荘島宏二郎（大学入試センター）

【要旨】本チュートリアルセミナーでは、「縦断データの最新の理論的展開について学びたい」というよりは「縦断データとは何で、何ができるのかを知りたい」、あるいは「縦断データ分析に興味・関心はあるが、その基礎を学べる機会がなく、また数理的な色の濃い説明が苦手である」といった初学者の方を対象としている。

### 10:00 - 12:00 『地域の問題に立ち向かう教育心理学』

準備委員会企画シンポジウム

話題提供：中尾達馬（琉球大学）岸 俊行（福井大学）半澤礼之（北海道教育大学）大久保智生（香川大学）

指定討論：氏家達夫（名古屋大学） 司会：岡田 涼（香川大学）

【要旨】地域貢献の重要性が叫ばれるようになって久しい。今回は地域固有の問題や課題に立ち向かっている教育心理学者に研究活動を紹介してもらい、地方だからこそできる教育心理学に関する研究、そして教育心理学の地域貢献について考えていく。

### 13:30 - 15:30 『いま大学で何が起きているか―ハラスメントの起きる可能性を知る―』

ハラスメント防止委員会企画 シンポジウム（無料公開）

話題提供：内田伸子（十文字学園女子大学）高橋知音（信州大学）

指定討論：金子雅臣（職場のハラスメント研究所） 司会：大塚雄作（大学入試センター）

【要旨】これまでの積み重ねの中で、ハラスメントは往々にして加害者がそれを意識しないまま進行してしまうということが、浮き彫りにされてきた。今回は、大学の中で、ハラスメントに関わって、どういう状況がそれに陥りやすいのか、そして、そのような状況にどう関わっていったらよいのかということに焦点を絞って議論していく。

### 15:45 - 18:15 『ケア役割を問う―男性がケアに関わるとき―』

研究委員会企画シンポジウム

話題提供：伊藤裕子（文京学院大学）大野祥子（白百合女子大学）平山 亮（東京都健康長寿医療センター研究所）

指定討論：上野千鶴子（ウィメンズアクションネットワーク、立命館大学） 司会：伊藤裕子（文京学院大学）

【要旨】本シンポジウムでは、まずわが国で起こっている現実をおさえた上で、家族内ケアという限定で、男性がケア役割を果たすとき、その行為を取り巻く周囲の目、役割を遂行する男性の側とそれを受け止める女性の側の意識、そして改めて「ケア役割とは何か」について議論を深めたい。

### 16:00 - 18:00 『授業でメタ認知を育成するには』

準備委員会企画シンポジウム

話題提供：富田英司（愛媛大学）吉野 巖（北海道教育大学）瀬尾美紀子（日本女子大学）

指定討論：鹿毛雅治（慶応義塾大学） 司会：恵羅修吉（香川大学）

【要旨】学習者のメタ認知能力を伸ばすための試みは 30 年以上の歴史があり、教育実践においても幅広い関心を集めてきた。教育心理学は、さまざまな研究を通してメタ認知能力の育成に取り組んできた。今回は今後のメタ認知研究の課題や方向性を探っていく。

## ●10月10日（月・祝）

### 10:00 - 12:00 『学校と教育心理学者との協同のあり方を問い直す』

準備委員会企画シンポジウム（学校心理士資格更新 A のポイント対象）

話題提供：岡田 涼（香川大学）一柳智紀（新潟大学）金子泰之（常葉大学短期大学部）

指定討論：水野治久（大阪教育大学）町 岳（大田区立東調布第一小学校） 司会：松本博雄（香川大学）

【要旨】教育現場には教育心理学の研究文脈とは異なる研究課題や問題がある。教育心理学者は学校がもつ課題や問題にどのように向き合ってきたのだろうか。いくつかの研究実践例をもとに、学校と教育心理学者との協同のあり方について今後の方向性を探っていく。

### 13:00 - 15:30 『教師のための教育心理学研究入門』

準備委員会企画チュートリアルセミナー（学校心理士資格更新 A のポイント対象）

講師：小塩真司（早稲田大学）岸野麻衣（福井大学）篠ヶ谷圭太（日本大学）

司会：大久保智生（香川大学）

【要旨】教師が心理学の研究の仕方がわからないために、研究をすることに躊躇している場合も少なくない。本セミナーでは、日頃、教師が研究したいと考えているテーマについて、どのように考え、どのように研究を行うとよいのかがわかることを目指す。

※準備委員会企画シンポジウム『学校と教育心理学者との協同のあり方を問い直す』と準備委員会企画チュートリアルセミナー『教師のための教育心理学研究入門』の参加は、それぞれ学校心理士資格更新 A のポイントになります。